

令和4年(2022年)1月28日

令和3年度 第2回多文化共生推進評議会 資料2

令和3年度(2021年度) 市政モニター アンケート結果

テーマ1 「多文化共生のまちづくり」について

市民活動推進部 多文化共生推進課

八王子市

あなたのみちを、
あるけるまち。 

目 次

《市政モニターの属性》	1
テーマ1 「多文化共生のまちづくり」について	
問1 「多文化共生のまちづくり」をどのように思うか	2
問2 八王子市が外国人も安心して暮らせるまちと思うか	3
問3 自分の国際感覚が豊かになったと感じるか	3
問4 外国人の相談窓口「在住外国人サポートデスク」を知っているか	4
問5 市内に外国人が増えていくことをどのように考えるか	5
問6 外国人に関連して困った経験はあるか	6
問6-1 困ったことはどのようなことか	6
問7 「多文化共生のまちづくり」を進めるために何ができると思うか	7
問8 「多文化共生のまちづくり」を進めるために市はどのようなことに力を入れるべきか	8
問9 「多文化共生のまちづくり」に関するご意見(自由記述)	9

市政モニターの属性

(太枠内は今回の回収数)

全 体		郵送		インターネット		合計	
		47	45	53	50	100	95
性 別	男性	24	22	26	25	50	47
	女性	23	23	27	25	50	48
年 代	18歳～29歳	2	2	9	7	11	9
	30歳代	4	4	8	8	12	12
	40歳代	12	12	9	9	21	21
	50歳代	6	6	14	13	20	19
	60歳～64歳	5	4	7	7	12	11
	65歳以上	18	17	6	6	24	23
地 区	中 央 (本庁地区)	7	7	8	8	15	15
	西南部 (浅川・横山・館地区)	10	9	8	7	18	16
	東 部 (由木・由木東・南大沢地区)	9	9	12	12	21	21
	西 部 (元八王子・恩方・川口地区)	8	8	5	4	13	12
	東南部 (由井・北野地区)	10	9	12	11	22	20
	北 部 (加住・石川地区)	3	3	8	8	11	11

(定員は100名)

※ アンケート実施期間:令和3年(2021年)9月10日から令和3年(2021年)9月30日まで

※ 回収率:95%(小数点第2位を四捨五入)

※ 回答は各質問の回答者数(n)を基数とした百分率(%)で表示した。(百分率は、小数点以下第2位を四捨五入して算出してあるため、合計が100%にならない場合がある。また、複数回答の場合は、回答比率の合計が100%を超える場合がある。)

※ 割合の表現については、以下の表記を基本とする。

<例>

表記	4割	約4割	4割強	4割台半ば	5割近く	5割弱
割合	40.0%	40.1~40.9%	41.0~43.9%	44.0~45.9%	46.0~48.9%	49.0~49.9%

※ 自由記述の表現はできる限り原文のまま記載しているが、アンケート全体で統一するため、一部表現を修正している。また、特定の個人、団体への誹謗中傷につながる内容や企業の営業活動に影響するもの、根拠が明確でないものなどは、一部削除・修正した。

テーマ I 「多文化共生のまちづくり」について

市民活動推進部 多文化共生推進課

市では、平成 25 年(2013 年)3月に多文化共生推進プランを策定し、外国人市民も日本人市民も、誰もが暮らしやすいまちづくりを進めています。

本市で暮らす外国人市民は 13,000 人を超え、国際結婚により生まれた人や、海外からの帰国者など、日本国籍であっても外国文化を背景に持つ人も増えています。平成 31 年(2019 年)4 月には、改正入管法の施行により、新たな在留資格が創設されるなど、多文化共生に関する環境が変化してきました。

そこで、本市がめざす「多文化共生のまちづくり」について、市政モニターの皆様のご意見をお伺いします。

※多文化共生とは…

国籍、民族などの異なる人々が、互いの文化的な違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくことをいいます。

問1 あなたは、「多文化共生のまちづくり」について、どのように思いますか。 (○は1つだけ)
(n=95)

	構成比(%)
必要である	68.4
どちらかといえば必要である	22.1
どちらかといえば必要ない	6.3
必要ない	0.0
わからない	3.2

多文化共生のまちづくりについてどう思うか聞いたところ、「必要である」が 7 割近く(68.4%)と最も多く、次いで「どちらかといえば必要である」が2割強(22.1%)であった。

問2 あなたは、八王子市が外国人も安心して暮らせるまちだと思いますか。

(○は1つだけ)

(n=95)

	構成比(%)
そう思う	18.9
どちらかといえばそう思う	45.3
どちらかといえばそうは思わない	11.6
そうは思わない	5.3
わからない	18.9

八王子市が外国人も安心して暮らせるまちか聞いたところ、「どちらかといえばそう思う」が 4 割台半ば(45.3%)と最も多く、次いで「そう思う」「わからない」が 2 割近く(18.9%)であった。

問3 あなたは、自分の国際感覚が豊かになったと感じますか。

(○は1つだけ)

(n=95)

	構成比(%)
豊かになった	7.4
どちらかといえば豊かになった	38.9
どちらかといえば豊かになっていない	21.1
豊かになっていない	23.2
わからない	9.5

自分の国際感覚が豊かになったと感じるか聞いたところ、「どちらかといえば豊かになった」が 4 割近く(38.9%)と最も多く、次いで「豊かになっていない」が2割強(23.2%)であった。

問4 あなたは、外国人のための相談窓口として「在住外国人サポートデスク」(※)があることを知っていますか。

(○は1つだけ)

(n=95)

	構成比(%)
知っていて、利用したことがある	0.0
知っているが、利用したことはない	21.1
知らない	78.9

外国人のための相談窓口として「在住外国人サポートデスク」があることを知っているか聞いたところ、「知らない」が8割近く(78.9%)と最も多く、次いで「知っているが、利用したことはない」が2割強(21.1%)であった。

※在住外国人サポートデスクとは…

市が設置している外国人のための相談窓口です。外国人からの相談はもちろん、外国人に関する日本人からの相談も受け付けています。弁護士や行政書士による個別相談も可能です。

【受付日時】月～土曜日 午前10時～午後5時まで ※祝・休日、年末年始、ビル休館日を除く

【所在地】八王子市旭町9-1 八王子スクエアビル11階 学園都市センター内

【電話】042-642-7091

【委託事業者】特定非営利活動法人 八王子国際協会

問5 外国人市民は今後さらに増えていくことが見込まれますが、市内に外国人が増えていくことについて、あなたはどのように考えますか。

(〇はいくつでも)

(n=95)

	構成比(%)
多様性の豊かなまちになる	55.8
外国の文化にふれる機会が増える	52.6
生活習慣(ごみの出し方やマナーなど)の違いにより、生活環境が悪くならないか心配である	50.5
外国人の知人・友人ができる	30.5
外国人が増えること自体、なんとなく不安に思う	29.5
まちが賑やかになるなど活気がでる	26.3
外国語を学べる機会が増える	17.9
日本語が通じない人が増えることで、不便、不安に思う	10.5
日本の習慣や街並みなどの景観から日本らしさが失われる	7.4
その他	8.4
特にない	1.1

市内に外国人が増えていくことについてどのように考えるか聞いたところ、「多様性の豊かなまちになる」が5割台半ば(55.8%)と最も多く、次いで「外国の文化にふれる機会が増える」が5割強(52.6%)であった。

【その他】具体的に記入・入力があった内容

- 見かけることはあるが、直接接したり、行動する機会はない。
- 治安が悪くならないか心配。
- 良い点も悪い点もある。
- 日本人へのサポートも必要。
- 日本語の喋れない外国人が施設を利用する際、案内などに不都合が出ることもある。実際経験したことで、現在ではスマートフォンの自動翻訳もあるので問題ない可能性もあるが、英語でもとっさに喋ることは難しかった。
- ある会社の社員数人が、他人が所有している駐車場でボール遊びをしているのを何回か見かけた(夜間に勤務先宿舎前で大声で騒いでいることもある)。企業には指導をお願いしたい。
- 宗教、文化、民族的価値観等に触れる機会ができるのは良いが、必ずそこから問題が出てくるのが懸念される。
- 外国人を増やす目的は何か。労働力であれば日本人の元気な高齢者、女性、職に困っている若者を使えば良い。
- 友好、留学と見せかけて、スパイ活動をするような国や反日国からの入国は禁止して欲しい。

- 犯罪が増えそうで不安。
- 外国人によって、日本人の安心・安全な暮らしが脅かされるのであれば反対。

問6 あなたは今までに、外国人に関連して困った経験がありますか。 (○は1つだけ)
(n=95)

	構成比(%)
ある(→問6-1へ)	29.5
ない(→問7へ)	70.5

今までに外国人に関連して困った経験があるか聞いたところ、「ない」が約7割(70.5%)であった。

【問6で「1 ある」とお答えの方に】

問6-1 困ったことはどのようなことですか。 (○はいくつでも)
(n=28)

	構成比(%)
日本語が通じない	53.6
ごみの出し方など基本ルールを理解していない	35.7
日本の習慣を理解してもらえない	35.7
外国人の考え方が理解できない	10.7
部屋からの声や物音、臭いなど	10.7
どのように接したらいいのかわからない	10.7
町会・自治会など地域活動に参加してくれない	3.6
その他	17.9

今までに外国人に関連して困った経験が「ある」と答えた方に、困ったことはどのようなことか聞いたところ、「日本語が通じない」が5割強(53.6%)と最も多く、次いで「ごみの出し方など基本ルールを理解していない」「日本の習慣を理解してもらえない」が3割台半ば(35.7%)であった。

【その他】具体的に記入・入力があった内容

- 道を聞かれたが、答えられなかった。
- 声大きい。

- 電車に乗った際、停車する駅を日本語のみで案内していたので、近くにいた海外の人に伝えようと思ったができなかった。英語の日常会話位できたらと思う。
- 日本語と海外の言葉のニュアンスが微妙に違うので、気持ちの部分が伝わりにくい。日本人同士でもあることだが、注意をしたり、お願いごとをする際の理由について、説明するのが難しい。
- マスク未着用の割合が日本人に比べて外国人が多いと感じる。

問7 「多文化共生のまちづくり」を進めるために、あなたには何ができるとお考えですか。

(○はいくつでも)

(n=95)

	構成比(%)
やさしい日本語(※)を意識するなど、コミュニケーションを工夫する	69.5
外国人に話しかける(あいさつなど)	47.4
日常の簡単な相談に応じるなど、可能な範囲で支援する	38.9
外国語や外国の文化を学ぶ	31.6
国際交流イベントに参加する	16.8
外国人が地域の行事に参加するよう声掛けする	11.6
外国人を支援する活動に参加する	9.5
その他	2.1
特になし	6.3
【無回答】	4.2

「多文化共生のまちづくり」を進めるために何ができるとお考えか聞いたところ、「やさしい日本語を意識するなど、コミュニケーションを工夫する」が 7 割弱(69.5%)と最も多く、次いで「外国人に話しかける(あいさつなど)」が 5 割近く(47.4%)であった。

※やさしい日本語とは…

やさしい日本語は、難しい言葉を言い換えるなど、相手に配慮したわかりやすい日本語のことです。日本語の持つ美しさや豊かさを軽視するものではなく、外国人、高齢者や障害のある人など、多くの人に日本語を使ってわかりやすく伝えようとするものです。

例： 高台に避難してください → 高いところに逃げてください

【その他】 具体的に記入・入力があった内容

- 日本のことを教えている。
- 折り紙を教えること。

問8 「多文化共生のまちづくり」を進めるためには、市はどのようなことに力を入れるべきと思いますか。

(〇はいくつでも)

(n=95)

	構成比(%)
日本の文化や生活情報を外国語で知らせる	63.2
外国人への偏見・差別をなくすための努力をする	57.9
日本人と外国人の交流イベントを開催する	49.5
外国人の子どもや留学生へ支援を行う	46.3
外国人も地域活動に参加しやすい環境をつくる	45.3
外国人も意見や提案をしやすくする	37.9
外国の文化や生活情報を紹介する	27.4
NPOやボランティアの育成と支援を行う	26.3
その他	6.3
特になし	1.1

「多文化共生のまちづくり」を進めるためには、市はどのようなことに力を入れるべきと思うか聞いたところ、「日本の文化や生活情報を外国語で知らせる」が6割強(63.2%)と最も多く、次いで「外国人への偏見・差別をなくすための努力をする」が6割近く(57.9%)であった。

【その他】 具体的に記入・入力があった内容

- 現在、孫の同級生にハーフの子どもが二人いるが、当たり前のように日本人として接している。外国人として区別されることなく、楽しい学校生活になるよう見守って欲しい。
- 積極的に看板や広報に英語の表記をすると共に、ピクトグラムのようなわかりやすいアイコンがあると良い。日本人も看板はよく目にするので、外国語が記述された看板が目につく場所があると、多文化共生の街であると認識が深まる。
- 防災無線から流れる声(地震や台風や大雨など避難が必要なとき)を日本語、韓国語、中国語、英語、ベトナム語が流れると良い。
- 外国人にも日本人への偏見・差別をなくす努力をしてもらう。
- 外国語(まずは英語)での会話ができる市民が多くなるよう、学べる機会を増やす。
- 外国人が日本文化に触れあう機会を設ける。

問9 その他、「多文化共生のまちづくり」に関するご意見がありましたら、ご記入ください。

(自由記述)

《周囲の環境整備・サポート》

- 外国から日本へ来た方で、お子さんのいる方には特にサポートが必要だと思う。(40歳代)
- 幼少期に父の仕事の関係でアメリカに3年移住していたが、多国籍国家であるからか、差別されることはなく、地域社会でも学校でも優しく受け入れられた。日本(八王子)に住んでいる外国の方にも同じように感じてもらうために何かできたらと思うが、今は同じスポーツクラブに通う友人の話し相手になることしかできない。(50歳代)
- イベント的な活動も良いが、日常生活の中で困っていることを支援したり、子どもたちの母語を大切にしつつ、日本語の支援も行ったりすることが大切。(50歳代)
- 外国人は近所に住んでいないが、機会があれば関わりたい。(70歳代)
- 多文化を知ることは最も大切であり、これからの時代は交わり、関わり、参加などが必要。八王子は積極性があると思う。(70歳代)
- 数年海外で生活した経験があるが、外国人でも住みやすい環境がある程度整っていた。外国人を受け入れてきた時間が長いこともあるが、差別をあまり感じることなく過ごせた。日本も少しずつでも努力すべきと思う。(70歳代)

《イベント・交流の場への参加》

- わざわざイベント等に足を運ぶのは大変なので、例えば JR 八王子駅改札前等で、月毎に一つの国を取り上げて、その国の様子や文化、八王子に暮らしている人(住んでいる人数だけでもわかると良い)等を紹介する展示コーナーや、その国の食べ物(お菓子)、雑貨、調味料等を売ると面白いかと感じた。(30歳代)
- 施設に行くのはハードルが高く、交流の場にもなかなか足を運ぶことができない。そこで、小中学生や留学生、福祉施設、病院等などに協力してもらい、メッセージカードや手紙などを交換してはどうか。名前や住所は書かずに市で回収し、それぞれ書いてくれた人に渡す。双方できるだけ簡単な日本語で、今、興味のあること、お薦めのお店や得意な料理のレシピなどなんでも良い。顔はわからなくても、この町にこの手紙を書いた人がいると思えるだけで良い。そこからその人の国や八王子のことを知りたいきっかけの1つになればと思う。(30歳代)
- 八王子祭りのような大型イベントの運営など、市民との交流の場に参加してもらう機会を増やし、関係性を豊かにできたら良い。(40歳代)
- 放射線ユーロードで国際色豊かな催しを実施する。大道芸や屋台市場など、様々な国の人々やお店を呼ぶことで盛り上がると思う。(50歳代)
- 「多文化共生のまちづくり」を進めるには、地域社会の人と接することが大切だと思う。祭りやイベントへの参加を橋渡しすることも必要。私自身は日本語しかできないが、海外の人が困っていたときにジェスチャーで伝え、お互いに喜んだことを思い出す。(70歳代)

《市の政策・取組》

- 今回のアンケートで「多文化共生推進プラン」のことを知った。プラン策定は 2013 年なのでコロナ禍の前だが、パンデミック等の状況下では多人種地域はリスクも大きく、日本語が通じない外国人の命を守る活動から進めて欲しい。(40歳代)
- 今は若者を中心に、紙よりもデジタル媒体にて情報を得ている。広報でのアナウンスを多くの人が見ているとは思えないので、ツイッター等の SNS を作り、市民のみに情報発信すると良い。(40歳代)

- 日本人と外国人の仲介、かけ橋的な役割を市にして欲しい。(40 歳代)
- 「多文化共生のまちづくり」に関する市の活動を、正直、身近に感じたことはない。(50 歳代)
- 「多文化共生のまちづくり」は難しいと思う。(60 歳代)
- 「多文化共生のまちづくり」を行なうためには、まず、日本人の安全で安心が守られることが必要。また、日本人より外国人を優遇するような政策は反対。(60 歳代)
- 日本語を教えるボランティアをしているが、市の施設を利用する際に様々なことを免除してもらえる制度があると有難い。(70 歳代)
- 外国人という「ひとづくり」で考えては問題がある。リード(支援)しなければいけない人、リードして欲しい人など千差万別なので、個々の対応をしっかりと判断すべき。(70 歳代)

《言葉の問題》

- 言葉の壁がある。言葉が理解できれば意思疎通できるようになる。積極的に外国人を受け入れながら、多国語を話せる方や翻訳機などを使って言葉の壁を解決していく必要がある。さらに、外国から来た方はわからないことばかりだから、受け入れる方がより積極的に親切にする必要がある。誰かが法律や条例を守ることなど教えていく必要があり、アプリの開発なども1つの策かもしれない。(50 歳代)
- 今や開かれた国際社会なのに、世界に通じる英語能力が自分を含め日本は低い。学校や公共施設などに外国人を招き、生きた英語を学びながらコミュニケーションを増やし、お互いに解かりあえる世の中になるよう積極的に進めるべき。まずは言葉の壁を取り除くこと。(60 歳代)
- 家族で海外旅行には行くが、私自身、日本で外国人に接する機会がなく、外国語が話せない。(70 歳代)

《治安の問題》

- 治安が悪くなるイメージがあるので、積極的に受け入れたいと思わない。(40 歳代)
- 一部の技能実習生による犯罪が懸念される。(50 歳代)
- 最近、外国人の犯罪が多くなったと思う。多文化共生には受け入れ側の安心感が必要。(70 歳代)

《その他》

- 外国人だけでなく、LGBT に対する理解ある街になって欲しい。同性婚、またはそれ相当の支援が受けられるようになって欲しい。(20 歳代)